

業種別業況動向調査結果

(令和5年4-6月期)

令和5年9月

北海道経済部経済企画課

■調査時期	令和5年7月
■調査方法	道内経済・産業団体からの聞き取り及びアンケート形式による調査
■調査団体	機械（北海道機械工業会）、IT（北海道IT推進協会） 食品（北海道冷凍食品協会、北海道菓子工業組合）、 商店街（北海道商店街振興組合連合会） 観光（全国旅行業協会北海道支部、日本ホテル協会北海道支部） 建設（北海道建設業協会）、運輸（北海道トラック協会） 金融（北海道信用保証協会）、経済団体（北海道商工会議所連合会、 北海道商工会連合会、北海道中小企業団体中央会）
■調査項目	I 一般調査 1 業界の動向 (1) 今期（令和5年4-6月期）の現状 ア. 業況感 イ. 売上高、売上単価 ウ. 原材料、燃料、仕入コスト エ. 収益 オ. 設備投資 カ. 雇用 キ. 資金繰り (2) 来期（令和5年7-9月期）の見通し 2 業界として抱える問題点・課題について 3 道の施策等に対する意見、要望について II 特別調査 1 原油・原材料価格等高騰の影響について 原油・原材料価格等高騰による貴団体業界への影響の有無とその具体的な内容、価格転嫁が進んだ理由や進まない理由、価格転嫁以外の対応等 2 人手不足の状況について 人手不足について、貴団体業界における充足の度合いや影響の程度、その具体的な内容や緩和に向けた対策等

目次

<u>北海道機械工業会</u>	・・・	P 1
<u>北海道IT推進協会</u>	・・・	P 6
<u>北海道冷凍食品協会</u>	・・・	P 10
<u>北海道菓子工業組合</u>	・・・	P 13
<u>北海道商店街振興組合連合会</u>	・・・	P 17
<u>全国旅行業協会北海道支部</u>	・・・	P 21
<u>日本ホテル協会北海道支部</u>	・・・	P 24
<u>北海道建設業協会</u>	・・・	P 28
<u>北海道トラック協会</u>	・・・	P 33
<u>北海道商工会議所連合会</u>	・・・	P 37
<u>北海道商工会連合会</u>	・・・	P 39
<u>北海道中小企業団体中央会</u>	・・・	P 44
<u>北海道信用保証協会</u>	・・・	P 57

業種別業況動向調査 [令和5年4－6月期]

団体名：一般社団法人 北海道機械工業会

I 一般調査

1 業界の動向

(1) 今期（令和5年4－6月期）の現状について

項目	内容
ア. 業界団体における業況感	<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>非常に悪い・悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い</p> <p>【主な判断理由】</p> <p>・業況の現況のうち、33.5%が好転、18.9%が悪化と回答したため。</p>
イ. 売上高、売上単価の動向	<p>・36.0%が増加、23.8%が減少と回答</p>
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向	<p>・75.6%が上昇と回答</p>
エ. 収益の動向	<p>・27.4%が増加、33.5%が減少と回答</p>
オ. 設備投資の動向	<p>・11.6%が増加、9.8%が困難と回答</p>
カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入	<p>【人手不足の状況】</p> <p>・人手が不足していると回答した企業 73.8%</p> <p>【採用人数について】</p> <p>・2023年4月からの採用人数について、0人と回答した企業が37.2%、1～5人と回答した企業が51.2%と採用にも苦しんでいる様子。</p>
キ. 資金繰りの動向	<p>・2.4%が好転、7.9%が悪化と回答</p>

(2) 来期（令和5年7－9月期）の見通しについて

上記（1）の項目ア～キの観点に基づき、来期の見通しを適宜ご記入願います。

ア 業界団体における業況感

- ・31.7%が好転、17.1%が悪化と回答

イ 売上高、売上単価の動向

- ・35.4%が好転、16.5%が減少と回答

ウ 原材料・燃料・仕入コストの動向

- ・0.6%が下落、68.9%が上昇と回答

エ 収益の動向

- ・28.0%が増加、26.2%が減少と回答

オ 設備投資の動向

- ・14.6%が増加、9.8%が困難と回答

カ 雇用の動向

- ・人手が不足していると回答した企業の割合は、前々回調査（令和5年1月調べ）で66.7%、前回調査（令和5年4月調べ）で73.7%、今回調査で73.8%と増加傾向にあり、今後も人手不足に悩まされる企業は多くなると予想される。

キ 資金繰りの動向

- ・4.3%が好転、9.1%が悪化と回答

2 業界として抱える問題点・課題について

・当会の景況調査における経営上の当面の問題としては、原材料仕入価格上昇が67.7%と最も多く、次いで人手不足が57.9%、諸経費の増が36.6%、人件費増加が26.8%、売上不振が22.0%であった。

3 道の施策等に対する意見、要望について

- 原発再稼働を含め、電気料の負担低下・原発ゴミ処理場の推進
- エネルギーコスト高止まりに対する補助の希望
- 人手不足に対する施策／電気料金の見直し
- 電気料金の前年対比上昇分の一定割合の補助
- 電気料金補助政策の延長／給水光熱費増加に対する補助金等の検討
- 省エネに関する補助金の拡充
- 補助金など大企業への範囲緩和（拡充）
- 建物への補助金の実施
- 補助金の申請方法をよりシンプルにわかりやすくしてほしい。
- 企業個々への助成金／生産活動を積極的に行える仕事量の確保
- 新規設備に関する補助の他に、既存設備改造（省エネ）補助があるとありがたい。
- 電気料金・ガソリン代について、積極的な介入と税金の見直しを早急にお願いします。
- 道内企業に対して、強く地場活動していただけるように願います。
- 人材教育等の講習・研修員の会社への派遣を充実／
資本金（大企業）への補助の検討（当社は30名の会社だが、本社の資本金等により大企業扱い）
- 新卒・中途・UIターンを対象にしたものづくり企業の魅力アップにつながるPR施策
- 大規模な金融緩和を維持した上での、消費税・社会保険料等の大幅な減税／マクロ経済政策の実施

II 特別調査

1 原油・原材料価格等高騰の影響について

(1) 原油・原材料価格等の高騰は、貴団体業界にどの程度、影響があるかご教示下さい。

【該当するものを○で囲んでください。】

- ・ 大いに影響がある **影響がある** ・ 多少影響がある ・ 影響はない ・ わからない

(2) (1) による影響の具体的な内容及び対応についてご教示下さい。

①原油価格の高騰に伴う具体的な影響の上位3つは下記のとおりであった。

- ・ 原材料価格上昇 66.5%
- ・ 燃料費増加 62.2%
- ・ 輸送コスト増加 61.0%

②原材料価格の高騰に伴う具体的な影響の上位3つは下記のとおりであった。

- ・ 仕入れ価格上昇 85.4%
- ・ 輸送コスト増加 67.1%
- ・ 価格転嫁できないことによる利益減少 32.3%

(3) 価格転嫁は、業界ではどの程度進んでいますか。

【業界としての平均値に該当するものを○で囲んでください。】

- ・ 全てできている (10割) ・ 概ねできている (9~6割) **半ばできている (5~3割)** ・ ほとんどできていない (2割未満) ・ 全くできていない (ゼロ)

2 人手不足の状況について

(1) 貴団体業界における充足の度合いについてご記入願います。

<input checked="" type="checkbox"/> 正 規	・ <input checked="" type="checkbox"/> 非常に不足	・ 不 足	・ 充 足	・ 過 剰
<input checked="" type="checkbox"/> 非正規	・ 非常に不足	・ <input checked="" type="checkbox"/> 不 足	・ 充 足	・ 過 剰

(2) 上記(1)で「非常に不足」「不足」と回答された場合、どの程度影響を感じていますか。

・ <input checked="" type="checkbox"/> 非常に深刻な影響を受けている	・ 一定の影響を受けている	・ 現在のところ影響はない
--	---------------	---------------

(3) 上記(2)で「非常に深刻な影響を受けている」、「一定の影響を受けている」と回答された場合、その内容をご教示ください。

<ul style="list-style-type: none">・ パート 6.6%・ 一般職男性 38.8%・ 一般職女性 7.4%・ 専門技術者 79.3%

(4) 上記(1)で「非常に不足」、「不足」と回答された場合、人手不足の緩和に向けた対策の内容をご教示ください。

<p>人手不足であると回答した企業のうち、人手不足に対する対策についての上位3つは下記のとおりであった。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 中途採用 71.9%・ ハローワークの活用 54.5%・ 従業員の定年延長 37.2% <p>また、具体的な対策としては下記のものがあった。</p> <ul style="list-style-type: none">・ ポリテクセンター活用・ 人材派遣会社の活用・ 再就職制度の導入を検討
--

業種別業況動向調査 [令和5年4-6月期]

団体名：一般社団法人北海道 IT 推進協会

I 一般調査

1 業界の動向

(1) 今期（令和5年4-6月期）の現状について

項目	内容
ア. 業界団体における業況感	<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>非常に悪い・悪い・やや悪い・横ばい・<input checked="" type="checkbox"/>やや良い・良い・非常に良い</p> <p>【主な判断理由】</p> <p>・DXの推進により、業況はやや良い。ただし、人材不足により、受注を増やせない企業も多い。</p>
イ. 売上高、売上単価の動向	<p>・売上高はやや増加。首都圏の企業を中心に売上単価アップを認めてくれる企業が出始めた。</p>
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向	<p>・電気料金・ガソリン・半導体の価格は高止まり</p>
エ. 収益の動向	<p>・やや増加</p>
オ. 設備投資の動向	<p>・特に新規投資は見受けられない。</p>
カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入	<p>・正規・非正規とも多くの企業で、人手不足感がある。</p> <p>・新規採用・中途採用に力を入れている企業が多い。</p>
キ. 資金繰りの動向	<p>・特に問題はない。</p>

(2) 来期（令和5年7-9月期）の見通しについて

上記（1）の項目ア～キの観点に基づき、来期の見通しを適宜ご記入願います。

ア. 今期と同様
 イ. 今期と同様
 ウ. 外注費のコストアップ、原油の高騰により電気料金・ガソリン代等は高止まり
 エ. やや増加。人件費等のアップが売上単価に反映できなければ悪化も懸念される。
 オ～キは、今期と同様

2 業界として抱える問題点・課題について

- ・自治体システムの標準化・共通化への対応
- ・人材の確保とともに、クラウド・AI・IoT等新たな技術分野やプロジェクトマネジメントスキルの習得など人材の育成

3 道の施策等に対する意見、要望について

- ・道内IT企業が求める人材確保・育成支援施策の拡充・強化
- ・DX推進に係る施策の拡充・強化

II 特別調査

1 原油・原材料価格等高騰の影響について

(1) 原油・原材料価格等の高騰は、貴団体業界にどの程度、影響があるかご教示下さい。

【該当するものを○で囲んでください。】

・大いに影響がある ・影響がある ・**多少影響がある** ・影響はない ・わからない

(2) (1) による影響の具体的な内容及び対応についてご教示下さい。

・燃料費・電気料金の上昇によるコストの増加

(3) 価格転嫁は、業界ではどの程度進んでいますか。

【業界としての平均値に該当するものを○で囲んでください。】

・全てできている (10割) ・概ねできている (9～6割) ・半ばできている (5～3割) ・**ほとんどできていない** (2割未満) ・全くできていない (ゼロ)

(4) 価格転嫁が進んだ理由等について、具体的にご教示下さい。

・なし

(5) 価格転嫁が進まない理由等について、具体的にご教示下さい。

・他社との競合が厳しい (入札・見積合わせ)

(6) 価格転嫁以外の対応策について、具体的にご教示下さい。

・経費削減

2 人手不足の状況について

(1) 貴団体業界における充足の度合いについてご記入願います。

<input checked="" type="checkbox"/> 正 規	・ 非常に不足	・ <input checked="" type="checkbox"/> 不 足	・ 充 足	・ 過 剰
<input checked="" type="checkbox"/> 非正規	・ 非常に不足	・ <input checked="" type="checkbox"/> 不 足	・ 充 足	・ 過 剰

(2) 上記(1)で「非常に不足」「不足」と回答された場合、どの程度影響を感じていますか。

・ 非常に深刻な影響を受けている	・ <input checked="" type="checkbox"/> 一定の影響を受けている	・ 現在のところ影響はない
------------------	---	---------------

(3) 上記(2)で「非常に深刻な影響を受けている」、「一定の影響を受けている」と回答された場合、その内容をご教示ください。

・ 需要増への対応困難・機会損失等

(4) 上記(1)で「非常に不足」、「不足」と回答された場合、人手不足の緩和に向けた対策の内容をご教示ください。

・ 新規採用、中途採用の強化、賃金の引き上げ

業種別業況動向調査 [令和5年4－6月期]

団体名：（社）北海道冷凍食品協会

I 一般調査

1 業界の動向

(1) 今期（令和5年4－6月期）の現状について

項目	内容
ア. 業界団体における業況感	<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>非常に悪い・悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い</p> <p>【主な判断理由】</p> <p>・価格改定により売上収益とも改善しているが、原料・エネルギーの経費が高騰し、利益が出なくなっている。</p>
イ. 売上高、売上単価の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高、前年比増加 ・売上単価、規格変更及び値上げ ・価格改定によりカットされた商品あり
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向	<ul style="list-style-type: none"> ・価格改定後も引き続き、原材料、燃料、電気の価格が上昇している。
エ. 収益の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・原価アップにより好転していない。
オ. 設備投資の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・必要最低限の設備投資
カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入	<ul style="list-style-type: none"> ・正規・非正規にかかわらず、慢性的な人手不足
キ. 資金繰りの動向	<ul style="list-style-type: none"> ・問題なし

(2) 来期（令和5年7－9月期）の見通しについて

上記（1）の項目ア～キの観点に基づき、来期の見通しを適宜ご記入願います。

・ほぼ同じような状況で推移すると思われる。

2 業界として抱える問題点・課題について

・人員不足、人材の育成

II 特別調査

1 原油・原材料価格等高騰の影響について

(1) 原油・原材料価格等の高騰は、貴団体業界にどの程度、影響があるかご教示下さい。

【該当するものを○で囲んでください。】

- ・大いに影響がある ・**影響がある** ・多少影響がある ・影響はない ・わからない

(2) (1) による影響の具体的な内容及び対応についてご教示下さい。

- ・企業の自助努力は限界を超えている。
・コスト上昇を製品価格への転嫁することを継続的に行う必要がある。

(3) 価格転嫁は、業界ではどの程度進んでいますか。

【業界としての平均値に該当するものを○で囲んでください。】

- ・全てできている ・概ねできている ・**半ばできている** ・ほとんどできていない ・全くできていない
(10割) (9～6割) (5～3割) (2割未満) (ゼロ)

(4) 価格転嫁が進んだ理由等について、具体的にご教示下さい。

- ・消費者を含め適正価格への理解が進んでいる。
・仕入れ価格や動燃費の上昇分の理解が得られた。
・価格改定が1度で終わらない。日々原価上昇だが、日々の交渉はできない。

(5) 価格転嫁が進まない理由等について、具体的にご教示下さい。

- ・2回目までの時期は、国の指導があったが、3回目以降は指導がトーンダウン
・取引先（消費者）の買い控え
・小売企業が消極的。赤字でも製造するライバル企業があり、コンペをさせられ交渉が難しい。

(6) 価格転嫁以外の対応策について、具体的にご教示下さい。

- ・販売サイズの変更
・企業努力全般

2 人手不足の状況について

(1) 貴団体業界における充足の度合いについてご記入願います。

<input checked="" type="checkbox"/> 正 規	・ 非常に不足	・ <input checked="" type="checkbox"/> 不 足	・ 充 足	・ 過 剰
<input checked="" type="checkbox"/> 非正規	・ 非常に不足	・ <input checked="" type="checkbox"/> 不 足	・ 充 足	・ 過 剰

(2) 上記(1)で「非常に不足」「不足」と回答された場合、どの程度影響を感じていますか。

・ 非常に深刻な影響を受けている	・ <input checked="" type="checkbox"/> 一定の影響を受けている	・ 現在のところ影響はない
------------------	---	---------------

(3) 上記(2)で「非常に深刻な影響を受けている」、「一定の影響を受けている」と回答された場合、その内容をご教示ください。

<ul style="list-style-type: none">・ 時間外労働の増加・ 生産性の低下

(4) 上記(1)で「非常に不足」、「不足」と回答された場合、人手不足の緩和に向けた対策の内容をご教示ください。

<ul style="list-style-type: none">・ 賞与・賃金の引き上げ・ 設備導入による省力化・ 人材派遣会社の利用

業種別業況動向調査 [令和5年4－6月期]

団体名：北海道菓子工業組合

I 一般調査

1 業界の動向

(1) 今期（令和5年4－6月期）の現状について

項目	内容
ア. 業界団体における業況感	【該当するものを○で囲んでください。】 非常に悪い・悪い・やや悪い・横ばい・ <input checked="" type="checkbox"/> やや良い・良い・非常に良い
	【主な判断理由】 ・インバウンド需要が戻りつつある。
イ. 売上高、売上単価の動向	・販売個数は横ばいまたは、わずかな減少とおもわれるが、価格転嫁による値上げによる売上単価及び売上高は増えている。
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向	・引き続き注視している。ほぼすべてにおいて継続的にねあがりしている状況
エ. 収益の動向	・横ばいまたは、少し減少している。
オ. 設備投資の動向	・人手不足を解消する為の設備投資は増える傾向にある。
カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入	・転職などもあり、比較的どこでも販売員製造員共に不足している。
キ. 資金繰りの動向	・概ね、変わらず

(2) 来期（令和5年7－9月期）の見通しについて

上記（1）の項目ア～キの観点に基づき、来期の見通しを適宜ご記入願います。

・旅行客の増加によるインバウンド需要に期待している。但し、売り上げの増加が利益に結び付かない状況は続くと思われる。好転の兆しは感じられない。

2 業界として抱える問題点・課題について

・人材の確保と人材の育成。長期プランでの人づくりに不安感が出てきている。退職理由に重要性が感じられない事例や簡単に転職する。

3 道の施策等に対する意見、要望について

・引き続き、道外への販路開拓を促進し続けて欲しい。

II 特別調査

1 原油・原材料価格等高騰の影響について

(1) 原油・原材料価格等の高騰は、貴団体業界にどの程度、影響があるかご教示下さい。

【該当するものを○で囲んでください。】

・大いに影響がある ・影響がある ・多少影響がある ・影響はない ・わからない

(2) (1) による影響の具体的な内容及び対応についてご教示下さい。

・配送料・配送委託手数料に直結して、輸送費の上昇による収益を下げる影響を及ぼしている。原材料の高騰については、自助努力では賄えないレベル。収入の低下はサービスの低下にもつながりかねない。

(3) 価格転嫁は、業界ではどの程度進んでいますか。

【業界としての平均値に該当するものを○で囲んでください。】

・全てできている (10割) ・概ねできている (9～6割) ・半ばできている (5～3割) ・ほとんどできていない (2割未満) ・全くできていない (ゼロ)

(4) 価格転嫁が進んだ理由等について、具体的にご教示下さい。

・各社、個々の商品には企画・味に差別化があり、概ね唯一無二の商品体系から消費者に受け入れられているが、お菓子という総合的な見地から販売数の減少・商品少(小)化しても利益の確保が出来ていない。

(5) 価格転嫁が進まない理由等について、具体的にご教示下さい。

・各社が個ごろ取り組んでいる商品開発や新商品・イノベーションは言葉でいうほど簡単に成果が出るものではなく、競争もあること。

(6) 価格転嫁以外の対応策について、具体的にご教示下さい。

・物流回数を減らす為に、サービスが低下してもコストを優先している。ロット数による割引があれば活用する。商品は少(小)化することでわずかでもコストを抑えて価格を維持。
・価格転嫁してもセット販売でお得感をアピール(販売促進)している。

2 人手不足の状況について

(1) 貴団体業界における充足の度合いについてご記入願います。

<input checked="" type="checkbox"/> 正 規	・ 非常に不足	・ <input type="checkbox"/> 不 足	・ 充 足	・ 過 剰
<input checked="" type="checkbox"/> 非正規	・ 非常に不足	・ <input type="checkbox"/> 不 足	・ 充 足	・ 過 剰

(2) 上記(1)で「非常に不足」「不足」と回答された場合、どの程度影響を感じていますか。

・ 非常に深刻な影響を受けている	・ <input checked="" type="checkbox"/> 一定の影響を受けている	・ 現在のところ影響はない
------------------	---	---------------

(3) 上記(2)で「非常に深刻な影響を受けている」、「一定の影響を受けている」と回答された場合、その内容をご教示ください。

・ 人手の用する事業に取り組めない。催事やイベントへの参画が困難になりつつある。
--

(4) 上記(1)で「非常に不足」、「不足」と回答された場合、人手不足の緩和に向けた対策の内容をご教示ください。

・ 機械化。見込み生産から計画生産への切り替え、または計画生産の割合を増やしている。
--

業種別業況動向調査 [令和5年4－6月期]

団体名：北海道商店街振興組合連合会

I 一般調査

1 業界の動向

(1) 今期（令和5年4－6月期）の現状について

項目	内容
	<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>非常に悪い・悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い</p>
ア. 業界団体における業況感	<p>【主な判断理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の分類が5類へ移行後、コロナ禍前の水準に商店街への人流が回復しつつあり、小売りは上向きで、観光客等の飲食店利用が増えつつある。 一方、地方では回復している店とそうでない店の2極分化も見られ、空き地や空き店舗の増加も見られる。
イ. 売上高、売上単価の動向	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の分類が5類へ移行されたことに伴い、外出機会が増えた事など、売上高は若干の上昇傾向、単価も札幌など都心部商店街のインバウンド回復により上昇傾向あり。 地方では回復している店との2極分化も見られ、売上高・単価とも低下との感触もあり。 再開しつつある地域のイベント・お祭り等への来場者数・売上げは好調となっている。 なお、物価高騰により消費意欲が低下傾向にあり、価格転嫁による客離れへの影響か、売上向上には繋がらない模様。
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向	<ul style="list-style-type: none"> 原材料・燃料・仕入コストは上昇。 円安基調が進み原油価格の高騰が物流コストだけでなく、飲食店の食材などをはじめとする原材料などの仕入れ価格にも波及しており、価格転嫁も進まない中で厳しい状況が続いている。
エ. 収益の動向	<ul style="list-style-type: none"> 原材料価格や各種コストが上昇、物価高で収益はほとんどが低下の模様。
オ. 設備投資の動向	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大の影響に加え、円安や原材料、エネルギー価格の高騰など経済の先行きが見えないこともあり、設備投資の動向は目立った動きはない。
カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入	<ul style="list-style-type: none"> 慢性的な人手不足【江別】であるが、特に飲食店のアルバイトが深刻な模様。 若手が地域から流出、欲しい人材が地元に残らないところがある。 なお、地方の個店は少人数・家族経営が多いことから、人手不足なものさほど大きな影響を受けていない一方で、雇用する経営上の余裕がない個店もある。
キ. 資金繰りの動向	<ul style="list-style-type: none"> 資金繰りは引き続き厳しさが見受けられ、このままコスト上昇が進めば資金繰りの悪化が懸念される。 特に、コロナ関連融資の借入金の返済が本格的に始まり、厳しさを増しているところがある。

(2) 来期（令和5年7－9月期）の見通しについて

上記（1）の項目ア～キの観点に基づき、来期の見通しを適宜ご記入願います。

- ・各地で夏のイベントが行われるなど、コロナ禍明けの観光シーズンを迎え期待が大きく、来街者の客足は増加傾向の期待がある一方、観光需要は一過性という見方もあり、今後の経営環境、経営状況は不透明感があるものの、全体として小幅ではあるものの改善の見通しが期待される見方がある。
- ・なお、コロナ関連融資の借入金の返済が本格的に始まることや、コスト高による経費増加や消費マインドの冷え込み、人手不足などにより業績回復は遅れており、当面一進一退の状況が続くとの見通しもある。
- ・さらに、観光客をはじめ道外からの来街者も回復しつつある札幌市内でも、都心部と周辺商店街との回復度合いに差が出てくる見通しがある。

2 業界として抱える問題点・課題について

- ・商店街活動や商店街組織に係わる人材不足・高齢化
- ・その他、商圏人口の減少や、購買力の他地域への流出、景気低迷など

3 道の施策等に対する意見、要望について

- ・補助金等の申請書の作成が難しいことから、簡易な申請書様式を要望する。
- ・また、以前の予算規模と同程度以上の補助制度や、使い勝手の良い補助制度の創設を要望する。

II 特別調査

1 原油・原材料価格等高騰の影響について

(1) 原油・原材料価格等の高騰は、貴団体業界にどの程度、影響があるかご教示下さい。

【該当するものを○で囲んでください。】

- ・ **大いに影響がある** ・ 影響がある ・ 多少影響がある ・ 影響はない ・ わからない

(2) (1) による影響の具体的な内容及び対応についてご教示下さい。

- ・ 仕入価格や燃料費等の増加で、経営を圧迫し、消費への悪影響のほか、インフレに対応できない。

(3) 価格転嫁は、業界ではどの程度進んでいますか。

【業界としての平均値に該当するものを○で囲んでください。】

- ・ 全てできている (10割) ・ 概ねできている (9～6割) ・ 半ばできている (5～3割) ・ **ほとんどできていない** (2割未満) ・ 全くできていない (ゼロ)

(4) 価格転嫁が進んだ理由等について、具体的にご教示下さい。

(5) 価格転嫁が進まない理由等について、具体的にご教示下さい。

- ・ 価格転嫁による商品価格の上昇で、戻りつつあるお客様が再び離れてしまうという懸念など。

(6) 価格転嫁以外の対応策について、具体的にご教示下さい。

- ・ 電気料金の高騰を価格転嫁できないので、エネルギー政策自体の見直しも必要である。
・ 新型コロナの5類移行に伴うインバウンドやシニア観光客に期待している。
・ 価格転嫁のためには賃金上昇も必要である。

2 人手不足の状況について

(1) 貴団体業界における充足の度合いについてご記入願います。

<input checked="" type="checkbox"/> 正 規	・ 非常に不足	・ <input type="checkbox"/> 不 足	・ 充 足	・ 過 剰
<input checked="" type="checkbox"/> 非正規	・ 非常に不足	・ <input type="checkbox"/> 不 足	・ 充 足	・ 過 剰

(2) 上記(1)で「非常に不足」「不足」と回答された場合、どの程度影響を感じていますか。

・ 非常に深刻な影響を受けている	・ <input checked="" type="checkbox"/> 一定の影響を受けている	・ 現在のところ影響はない
------------------	---	---------------

(3) 上記(2)で「非常に深刻な影響を受けている」、「一定の影響を受けている」と回答された場合、その内容をご教示ください。

<ul style="list-style-type: none">・ アルバイトを募集しても応募自体が非常に不足しており、経営者の過重労働など店主の負担が増加している。・ 生産性やサービス等の低下が懸念している。・ そもそも利益が向上していない中では、新たな採用は難しい。

(4) 上記(1)で「非常に不足」、「不足」と回答された場合、人手不足の緩和に向けた対策の内容をご教示ください。

<ul style="list-style-type: none">・ 賃金引き上げが最も即効性のある対策であるが、人手確保のため個店では賃上げの余裕がないところがある。

業種別業況動向調査 [令和5年4－6月期]

団体名：（一社）全国旅行業協会北海道支部

I 一般調査

1 業界の動向

(1) 今期（令和5年4－6月期）の現状について

項目	内容
ア. 業界団体における業況感	<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>非常に悪い・悪い・<input checked="" type="checkbox"/>やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い</p> <p>【主な判断理由】</p> <p>・宿泊単価の高騰により、法人旅行の動きが鈍い。</p>
イ. 売上高、売上単価の動向	<p>・宿泊単価、バス代金の高騰により旅行代金は上がっている。</p>
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向	
エ. 収益の動向	<p>・横ばい又は悪い。</p>
オ. 設備投資の動向	
カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入	<p>・旅行会社単体での雇用はあまり無い。</p>
キ. 資金繰りの動向	<p>・厳しい状況である。</p>

(2) 来期（令和5年7－9月期）の見通しについて

上記（1）の項目ア～キの観点に基づき、来期の見通しを適宜ご記入願います。

<p>・引き受け厳しい状況は続く。</p>

2 業界として抱える問題点・課題について

- ・貸し切りバスの減少により、手配が困難
- ・宿泊価格の高騰
- ・コロナ禍の時期に国、民間から借入により、返済期間が始まった。

3 道の施策等に対する意見、要望について

- ・借入返済の期間延長

II 特別調査

1 原油・原材料価格等高騰の影響について

(1) 原油・原材料価格等の高騰は、貴団体業界にどの程度、影響があるかご教示下さい。

【該当するものを○で囲んでください。】

・大いに影響がある ・影響がある ・**多少影響がある** ・影響はない ・わからない

(2) (1) による影響の具体的な内容及び対応についてご教示下さい。

・貸し切りバスのガソリン代

(3) 価格転嫁は、業界ではどの程度進んでいますか。

【業界としての平均値に該当するものを○で囲んでください。】

・全てできている ・概ねできている ・半ばできている ・**ほとんどできていない** ・全くできていない
(10割) (9～6割) (5～3割) (2割未満) (ゼロ)

業種別業況動向調査 [令和5年4-6月期]

団体名：（一社）日本ホテル協会北海道支部

I 一般調査

1 業界の動向

(1) 今期（令和5年4-6月期）の現状について

項目	内容
ア. 業界団体における業況感	<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>非常に悪い・悪い・<input checked="" type="checkbox"/>やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い</p> <p>【主な判断理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊の好調にけん引され、コロナの前の収益をとり戻しつつあるものの、飲食付き宴会の低迷が懸念材料であること。
イ. 売上高、売上単価の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊については稼働率でコロナ前に近づき、単価がコロナ前を上回り増収傾向 ・レストランは収入・単価ともに増 ・宴会は法人需要が回復基調にあるが、その他の飲食を伴うものが少なく、減収傾向で変わらず。
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向	<ul style="list-style-type: none"> ・すべてにおいて値上げが顕著 ・特に電気料金の負担増が大きい。
エ. 収益の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ前の2019年に対しては約2割程度の減
オ. 設備投資の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・資金繰り、資金調達に対する不安要素が大きく、大きな設備投資には消極的。※一部ではアフターコロナを見据え投資する動きも
カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入	<ul style="list-style-type: none"> ・前期同様 正規、非正規ともに不足傾向 ・コロナ期間の人員縮小（退職、休業、出向）からの反転期にあり、人手不足が顕著である。新規採用も再開しているもののホテル業の求人になが集まらない（不人気・不安）。
キ. 資金繰りの動向	<ul style="list-style-type: none"> ・金融機関の対応は不変 ・設備投資より運転資金の調達が主と思われる。

(2) 来期（令和5年7-9月期）の見通しについて

上記（1）の項目ア～キの観点に基づき、来期の見通しを適宜ご記入願います。

- ・宿泊は前四半期途中の5分類移行以後 国内需要の回復、インバウンドの需要もあり、コロナ前に近づきつつあったが7-9月は夏場の高単価、全国高校総体の北海道開催も追い風となりコロナ前の2019年度を上回る見込み
- ・レストランはホテル利用の安心感から前四半期に続き順調で、7-9月期も好調であるが、コロナ期に縮小・統廃合などを重ねた結果、収益的には厳しい。宴会部門は会議等の開催は多くなってきているが、飲食を伴う大人数の宴席は敬遠されているようで7-9月期についても厳しい状況
- ・全体的に要員不足、原材料の値上げ対策が不可欠

2 業界として抱える問題点・課題について

- ・人材確保と省力化
コロナによりスタンダードであったサービスが変わりつつあり、如何に対応しニューノーマルの中、収益を上げていくかが課題
- ・コスト増対策
食材の高騰に対しては一部価格転嫁等の対策を講じているものの、水道光熱費の高騰は装置産業であるホテル業には負担が大きい。

3 道の施策等に対する意見、要望について

- ・コロナ禍の中、宿泊施設向けに様々な割引・支援が行われ、中断期間はあるものの一定の動きがあり非常にありがたく感謝いたします。また海外からの渡航も再開し期待しているが、空港での受け入れ態勢も整備しなくてはコロナ前同様の便数とはならないのではと危惧している。
- ・上記1(2)のとおり飲食を伴う宴会等の動きが鈍く、行政、関連団体等が率先して飲食付き宴会を開催いただくことで（感染対策の徹底を前提として）民間企業のベンチマークとなっていきたい。併せて水道高熱費等の高騰に対する助成事業の実施（中小企業への助成は実施済）や、旅館・ホテルにとどまらず観光業界全体の人材確保対策をお願いしたい。

II 特別調査

1 原油・原材料価格等高騰の影響について

(1) 原油・原材料価格等高騰は、貴団体業界にどの程度、影響があるかご教示下さい。

【該当するものを○で囲んでください。】

・大いに影響がある ・影響がある ・多少影響がある ・影響はない ・わからない

(2) (1)による影響の具体的な内容及び対応についてご教示下さい。

・食材・備品関係の値上げ
・水道光熱費（特に電気・ガス）の高騰

(3) 価格転嫁は、業界ではどの程度進んでいますか。

【業界としての平均値に該当するものを○で囲んでください。】

・全てできている ・概ねできている ・半ばできている ・ほとんどできていない ・全くできていない
(10割) (9～6割) (5～3割) (2割未満) (ゼロ)

(4) 価格転嫁が進んだ理由等について、具体的にご教示下さい。

・一部販売価格の改訂や営業形態の変更を行った。また昨今の社会情勢から飲食に関する価格改定については顧客の理解も得やすい状況にある。

(5) 価格転嫁が進まない理由等について、具体的にご教示下さい。

・前記II1(2)にも記載したが水道高熱費の高騰は値上げ幅が大きく価格転嫁レベルではない。

(6) 価格転嫁以外の対応策について、具体的にご教示下さい。

・メニュー内容の変更
・営業形態の変更等

2 人手不足の状況について

(1) 貴団体業界における充足の度合いについてご記入願います。

<input checked="" type="checkbox"/> 正 規	・ 非常に不足	・ <input type="checkbox"/> 不 足	・ 充 足	・ 過 剰
<input checked="" type="checkbox"/> 非正規	・ 非常に不足	・ <input type="checkbox"/> 不 足	・ 充 足	・ 過 剰

(2) 上記(1)で「非常に不足」「不足」と回答された場合、どの程度影響を感じていますか。

・ 非常に深刻な影響を受けている	・ <input checked="" type="checkbox"/> 一定の影響を受けている	・ 現在のところ影響はない
------------------	---	---------------

(3) 上記(2)で「非常に深刻な影響を受けている」、「一定の影響を受けている」と回答された場合、その内容をご教示ください。

・ 客室清掃や朝食等のレストランサービス、調理スタッフの不足により受注制限を行うこともあり、売上の機会損失。調理等専門技術の伝承への懸念
--

(4) 上記(1)で「非常に不足」、「不足」と回答された場合、人手不足の緩和に向けた対策の内容をご教示ください。

・ 採用活動の強化 ・ タイミーなど新規人材確保スタイルの導入検討 ・ 外国人労働者の採用検討

業種別業況動向調査 [令和5年4-6月期]

団体名：一般社団法人 北海道建設業協会

I 一般調査

1 業界の動向

(1) 今期（令和5年4-6月期）の現状について

項目	内容
	<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>非常に悪い・<input checked="" type="checkbox"/>悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い</p>
ア. 業界団体における業況感	<ul style="list-style-type: none"> ・地元建設産業の景気は、「悪い」傾向が続いている。 ・地区別の道東は「悪い」傾向が弱まり、道南は「悪い」傾向がやや強まっている。 ・完工高別の30億円以上は「悪い」傾向が弱まり、5億円未満は、「悪い」傾向が強まっている。
イ. 売上高、売上単価の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・受注総額は、「減少」傾向がやや弱まっている。 ・官公庁工事は、「減少」傾向が弱まり、民間工事は「減少」傾向が続いている。
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向	<ul style="list-style-type: none"> ・資材の調達は、「困難」傾向が続いている。 ・資材価格は、「上昇」傾向が続いている。
エ. 収益の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・収益は、「減少」傾向が弱まっている。 ・収益の「減少」理由をみると、「完成工事高の減少」（69.5%）が最も多く、次に「資材価格の上昇」（65.9%）、「人件費の上昇」（52.4%）の順となっている。
オ. 設備投資の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・不明
カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入	<p>[人手の過不足の状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設労働者の確保は、「困難」傾向が続いている。 <p>[雇用調整等の状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不明 <p>[当面の採用予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不明
キ. 資金繰りの動向	<ul style="list-style-type: none"> ・資金繰りは、「容易」傾向が続いている。 ・支払手形の平均サイトは、「90日以内」（68.5%）、「91日～120日」（30.4%）の順となっている。 ・受取手形の平均サイトは、「91日～120日」（51.2%）、「90日以内」（45.2%）の順となっている。

(2) 来期（令和5年7－9月期）の見通しについて

上記（1）の項目ア～キの観点に基づき、来期の見通しを適宜ご記入願います。

○業界団体における業況感

- ・悪い傾向が続く見通し

○売上高、売上単価の動向

- ・受注総額は「減少」傾向が続く見通し
- ・官公庁工事は「減少」傾向が強まり、民間工事は「減少」傾向が続く見通し。

○原材料・燃料・仕入コストの動向

- ・資材の調達は、「困難」傾向が続く見通し
- ・資材価格は、「上昇」傾向がやや弱まる見通し

○収益の動向

- ・「減少」傾向が続く見通し

○雇用の動向（人手の過不足の状況）

- ・困難傾向が続く見通し

○資金繰りの動向

- ・「容易」傾向が続く見通し

2 業界として抱える問題点・課題について

・経営上の問題点は、①人手不足、②従業員の高齢化。③受注の減少、が上位三項目となっており、「人手不足」は28期連続で経営上の問題点1位。同じく「従業員の高齢化」は26期連続で2位となっている。

3 道の施策等に対する意見、要望について

・「労務費、原材料費、エネルギーコスト等の高騰の状況等を踏まえた対応について」（令和5年6月8日付）が国土交通省等より地方自治体や主要民間発注者に対して発出されておりますが、これらの要請を踏まえ、北海道として市町村や民間発注者への指導をお願いします。
特に民間発注者については、直近の資材価格の調達や状況を反映した価格や工期での契約締結となるよう指導をお願いします。

II 特別調査

1 原油・原材料価格等高騰の影響について

(1) 原油・原材料価格等の高騰は、貴団体業界にどの程度、影響があるかご教示下さい。

【該当するものを○で囲んでください。】

・大いに影響がある ・影響がある ・多少影響がある ・影響はない ・わからない

(2) (1)による影響の具体的な内容及び対応についてご教示下さい。

・不明

(3) 価格転嫁は、業界ではどの程度進んでいますか。

【業界としての平均値に該当するものを○で囲んでください。】

・全てできている ・概ねできている ・半ばできている ・ほとんどできていない ・全くできていない
(10割) (9～6割) (5～3割) (2割未満) (ゼロ)

(4) 価格転嫁が進んだ理由等について、具体的にご教示下さい。

・不明

(5) 価格転嫁が進まない理由等について、具体的にご教示下さい。

・不明

(6) 価格転嫁以外の対応策について、具体的にご教示下さい。

・不明

2 人手不足の状況について

(1) 貴団体業界における充足の度合いについてご記入願います。

<input type="checkbox"/> 正 規	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に不足	<input type="checkbox"/> 不 足	<input type="checkbox"/> 充 足	<input type="checkbox"/> 過 剰
<input checked="" type="checkbox"/> 非正規	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に不足	<input type="checkbox"/> 不 足	<input type="checkbox"/> 充 足	<input type="checkbox"/> 過 剰

(2) 上記(1)で「非常に不足」「不足」と回答された場合、どの程度影響を感じていますか。

<input checked="" type="checkbox"/> 非常に深刻な影響を受けている	<input type="checkbox"/> 一定の影響を受けている	<input type="checkbox"/> 現在のところ影響はない
--	--------------------------------------	--------------------------------------

(3) 上記(2)で「非常に深刻な影響を受けている」、「一定の影響を受けている」と回答された場合、その内容をご教示ください。

<ul style="list-style-type: none">・若手労働者の入職が少なく、現場労働者の高齢化が進んでいる。
--

(4) 上記(1)で「非常に不足」、「不足」と回答された場合、人手不足の緩和に向けた対策の内容をご教示ください。

<ul style="list-style-type: none">・若手労働者の入職促進のため現場見学会やインターンシップなど、就職意欲の喚起につながる事業を実施している。また、労働環境の改善に努めている。
--

業種別業況動向調査 [令和5年4－6月期]

団体名：公益社団法人北海道トラック協会

I 一般調査

1 業界の動向

(1) 今期（令和5年4－6月期）の現状について

項目	内容
ア. 業界団体における業況感	<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>非常に悪い・<input checked="" type="checkbox"/>悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い</p>
	<p>【主な判断理由】</p> <p>・輸送量は減少傾向であり、燃料・油脂をはじめとする運送コストが値上がりしており、価格転嫁も進んでいない為。</p>
イ. 売上高、売上単価の動向	<p>・上記の理由により全体的には低調な推移が続いている。</p>
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向	<p>・燃料（軽油）及び油脂やタイヤなどの全ての消耗品価格が値上がりの状況が続いており、加えて車両本体価格の値上げや車両納期の遅れが続いている。</p>
エ. 収益の動向	<p>・輸送量の低調な推移が続いており、加えて燃料をはじめとした輸送コスト全体の上昇により収益が悪化している状況が続いている。</p>
オ. 設備投資の動向	<p>・収益が悪化している状況であり、車両代替え等の設備投資は進んでいない。</p>
カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入	<p>・ドライバー及び荷役作業員等の新規雇用が進んでおらず、加えてドライバーの高齢化等により、ドライバー不足の状況が続いている。</p>
キ. 資金繰りの動向	<p>・資金繰りについては、大きな変化は見られない。</p>

(2) 来期（令和5年7－9月期）の見通しについて

上記（1）の項目ア～キの観点に基づき、来期の見通しを適宜ご記入願います。

・燃料価格の高騰などコスト増について改善が見込めないため、今期と同様の傾向が続く見通し。
 ・燃料価格高騰などの価格転嫁は大手企業の一部では進んでいるが、中小企業については進んでいない状況であり、国の「燃料油価格激変緩和補助金」が9月末で終了となることから、更なる業績悪化となることが予想される。

2 業界として抱える問題点・課題について

- ・2023年4月からの60時間超の割増賃金率の引き上げに加え、2024年4月からの運転者の時間外労働の上限規制など「2024年問題」への対応も課題となっている。
- ・価格転嫁が進まない事から収益も上がらず、運転者の労働環境改善も進められない。そのため人材確保も進まないという悪循環の状態である。

3 道の施策等に対する意見、要望について

- ・燃料価格高騰に対するトラック運送事業者への追加支援策を望む。
- ・景気浮揚対策を望む。
- ・北海道内の高規格幹線道路及び一般道のインフラ整備促進を望む。
- ・北海道ブランドの維持・拡大の為、道外へ輸送するための物流コストに対する支援を望む。
- ・公共事業の輸送費関連の積算単価はやや上昇しているが、事業受託企業から実運送事業者へ支払われる輸送費が原価割れを起こす事例もあり、適正な運賃が支払われるよう指導される事を望む。
- ・公共事業の工期が集中しており、ドライバー不足等により車両の確保が出来ない事例があるので、公共事業の工期の平準化等の対策を望む。
- ・災害時等における、道路の安全確保対策と燃料の安定供給・確保対策を望む。

II 特別調査

1 原油・原材料価格等高騰の影響について

(1) 原油・原材料価格等の高騰は、貴団体業界にどの程度、影響があるかご教示下さい。

【該当するものを○で囲んでください。】

・ 大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある ・ 影響はない ・ わからない

(2) (1) による影響の具体的な内容及び対応についてご教示下さい。

- ・ 貨物自動車運送にとって燃料（軽油）は必要不可欠であり、原油価格の高騰は経営に直接影響する費目である。
- ・ 燃料価格の上昇分を運賃・料金に転嫁することが必要であるが、荷主との力関係等により交渉が進まないケースが多く、自助努力にも限界があり経営を圧迫している状況にある。
- ・ 上部団体と連携して国等に対し「燃料油価格激変緩和補助金」の延長など対策を要望している。

(3) 価格転嫁は、業界ではどの程度進んでいますか。

【業界としての平均値に該当するものを○で囲んでください。】

・ 全てできている ・ 概ねできている ・ 半ばできている ・ ほとんどできていない ・ 全くできていない
(3割程度)

(4) 価格転嫁が進んだ理由等について、具体的にご教示下さい。

- ・ 当協会でも「2024年問題」や燃料高騰における影響等、新聞広告等で一般消費者等に周知していることもあり、トラック運送業界に理解を示す荷主企業は増えてきている。

(5) 価格転嫁が進まない理由等について、具体的にご教示下さい。

- ・ 荷主企業との力関係や他社との競合により交渉が進まない。
- ・ 荷主企業自体も原料コスト高などの影響を受けている為、交渉が進まない。

(6) 価格転嫁以外の対応策について、具体的にご教示下さい。

- ・ 経費節減（輸送効率化等）には取り組んでいるが、荷主企業等の協力も必要であり、自助努力だけでは効率化は難しく、コスト増分を自社負担して対応せざるを得ない。
- ・ ごく一部の企業では他社との共同輸送など取り組んでいる。

2 人手不足の状況について

(1) 貴団体業界における充足の度合いについてご記入願います。

正規	・ 非常に不足 (ドライバー)	・不足	・充足	・過剰
非正規	・ 非常に不足 (荷役作業員等)	・不足	・充足	・過剰

(2) 上記(1)で「非常に不足」「不足」と回答された場合、どの程度影響を感じていますか。

・非常に深刻な影響を受けている	・ 一定の影響を受けている	・現在のところ影響はない
※今後は「非常に深刻な影響を受ける」事が予想される		

(3) 上記(2)で「非常に深刻な影響を受けている」、「一定の影響を受けている」と回答された場合、その内容をご教示ください。

<ul style="list-style-type: none">・ドライバー不足の為、新規運送依頼があっても断らざるを得ない事業者もある。・高齢化も進んでおり、今後、ドライバー不足が深刻になると物流が停滞する可能性がある。
--

(4) 上記(1)で「非常に不足」、「不足」と回答された場合、人手不足の緩和に向けた対策の内容をご教示ください。

<ul style="list-style-type: none">・若年層の労働人口が少ない中、ドライバーを増やすためには労働環境改善（賃金、労働時間短縮）が不可欠である。・そのためには運賃水準を高くする必要があり、最低でも国土交通省が告示している「標準的な運賃」を収受出来る環境整備が必要である。・また、ドライバーの労働時間短縮の為、運送事業者では輸送ルートや配送日数の見直し等の輸送効率化を進めたいが、荷主の理解・協力が不可欠であり、運送事業者だけでは進められない事が課題。・当協会では荷主に対して運送業界の現状や「標準的な運賃」などについての広報活動等を実施し、運送事業者と荷主が交渉しやすい環境整備を進めている。
--

業種別業況動向調査 [令和5年4-6月期]

団体名：北海道商工会議所連合会

I 一般調査

1 業界の動向

(1) 今期（令和5年4-6月期）の現状について

項目	内容
ア. 業界団体における業況感	現状（4-6月期） ⇒ 見通し（7-9月期） ※前年同期比 増加-減少
	【主な判断理由】 全業種 △15.2 ⇒ △10.2 製造 △20.0 ⇒ △15.7 建設 △19.5 ⇒ △26.5 卸売 △5.5 ⇒ 1.8 小売 △20.9 ⇒ △4.5 サービス △9.8 ⇒ △6.0
イ. 売上高、売上単価の動向	現状（4-6月期） ⇒ 見通し（7-9月期） ※前年同期比 増加-減少 全業種 △15.2 ⇒ △10.2 製造 △20.0 ⇒ △15.7 建設 △19.5 ⇒ △26.5 卸売 △5.5 ⇒ 1.8 小売 △20.9 ⇒ △4.5 サービス △9.8 ⇒ △6.0
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向	
エ. 収益の動向	今期の水準（4-6月期） ※黒字-赤字 全業種 △8.3 製造 △24.6 建設 △1.4 卸売 1.8 小売 △10.3 サービス △6.8 ⇒来期の水準（7-9月期） ※黒字-赤字 全業種 △18.0 製造 △26.4 建設 △32.0 卸売 △10.9 小売 △4.4 サービス △16.0

<p>オ. 設備投資の動向</p>	<p>実施した（4－6月期） ⇒ 実施予定（7－9月期） ※単位：％</p> <p>全業種 17.6 ⇒ 20.5 製 造 13.0 ⇒ 18.9 建 設 20.8 ⇒ 19.4 卸 売 18.2 ⇒ 15.4 小 売 15.9 ⇒ 19.4 サービス 20.2 ⇒ 29.2</p>
<p>カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入</p>	<p>今期の水準（4－6月期） ※過剰－不足</p> <p>全業種 △24.6 製 造 △ 7.3 建 設 △34.7 卸 売 △36.5 小 売 △15.2 サービス △29.7</p>
<p>キ. 資金繰りの動向</p>	<p>現状（4－6月期） ⇒ 見通し（7－9月期） ※前年同期比、好転－悪化</p> <p>全業種 △13.9 ⇒ △13.8 製 造 △23.7 ⇒ △12.9 建 設 △ 5.6 ⇒ △ 8.5 卸 売 △ 7.3 ⇒ △14.6 小 売 △20.6 ⇒ △17.7 サービス △12.0 ⇒ △14.9</p>

(2) 来期（令和5年7－9月期）の見通しについて

上記（1）の項目ア～キの観点に基づき、来期の見通しを適宜ご記入願います。

2 業界として抱える問題点・課題について

問題点として各業種1～3位に上げた項目

製造 ①原材料価格の上昇、②需要の停滞、③原材料・人件費以外の経費の増加

建設 ①材料単価の上昇、②従業員の確保難、③請負単価の低下・上昇難

卸売 ①仕入単価の上昇、②需要の停滞、③人件費以外の経費の増加

小売 ①仕入単価の上昇、②需要の停滞、③消費者ニーズの変化への対応

サービス ①材料等仕入価格の上昇、②人件費以外の経費の増加、③従業員の確保難

業種別業況動向調査 [令和5年4-6月期]

団体名：北海道商工会連合会

I 一般調査

1 業界の動向

(1) 今期（令和5年4-6月期）の現状について

項目	内容
ア. 業界団体における業況感	<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>非常に悪い・<u>悪い</u>・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い</p> <p>【主な判断理由】</p> <p>【製造業】前年同期比 DI 値＝▲10.2P 【建設業】前年同期比 DI 値＝▲21.3P 【小売業】前年同期比 DI 値＝▲33.8P 【サービス業】前年同期比 DI 値＝▲25.5P</p>
イ. 売上高、売上単価の動向	<p>■売上高</p> <p>【製造業】売上(加工)額 前年同期比 DI 値＝▲ 4.0P 【建設業】完成工事(請負工事)額 前年同期比 DI 値＝▲19.2P 【小売業】売上額 前年同期比 DI 値＝▲20.5P 【サービス業】売上(収入)額 前年同期比 DI 値＝▲ 9.0P</p> <p>■売上単価</p> <p>【製造業】売上(加工)単価 前年同期比 DI 値＝24.5P 【建設業】× 【小売業】客単価 前年同期比 DI 値＝▲6.0P 【サービス業】客単価 前年同期比 DI 値＝▲3.6P</p>
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向	<p>■原材料仕入単価</p> <p>【製造業】原材料仕入単価 前年同期比 DI 値＝87.8P 【建設業】材料仕入単価 前年同期比 DI 値＝87.0P 【小売業】商品仕入単価 前年同期比 DI 値＝65.1P 【サービス業】仕入単価(材料等) 前年同期比 DI 値＝66.0P</p>
エ. 収益の動向	<p>■採算（経常利益）</p> <p>【製造業】 前年同期比 DI 値＝▲18.0P 【建設業】 前年同期比 DI 値＝▲23.4P 【小売業】 前年同期比 DI 値＝▲37.4P 【サービス業】 前年同期比 DI 値＝▲34.0P</p>
オ. 設備投資の動向	<p>■設備投資の実施</p> <p>【製造業】回答 50 社の内、6 社実施 (投資内容) 生産設備＝4 社、車両運搬具＝3 社 工場建物、OA 機器、その他＝各 1 社 【建設業】回答 47 社の内、8 社実施 (投資内容) 車両・運搬具＝5 社、機械装置、OA 機器＝2 社、土地、建物、その他＝各 1 社</p>

	<p>【小売業】回答 83 社の内、4 社実施 (投資内容) 販売設備=2 社、車両・運搬具、OA 機器=各 1 社</p> <p>【サービス業】回答 111 社の内、12 社実施 (投資内容) サービス、車両・運搬具=各 4 社、付帯施設、その他=各 2 社、建物=1 社</p>
<p>カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入</p>	<p>【製造業】 前年同期比 DI 値=▲ 6.9 P</p> <p>【建設業】 前年同期比 DI 値=▲21.7 P</p> <p>【小売業】 前年同期比 DI 値=▲ 6.2 P</p> <p>【サービス業】 前年同期比 DI 値=▲ 2.2 P</p>
<p>キ. 資金繰りの動向</p>	<p>【製造業】 前年同期比 DI 値=▲ 2.0 P</p> <p>【建設業】 前年同期比 DI 値= 2.1 P</p> <p>【小売業】 前年同期比 DI 値=▲29.3 P</p> <p>【サービス業】 前年同期比 DI 値=▲22.0 P</p>

(2) 来期（令和 5 年 7 - 9 月期）の見通しについて

上記（1）の項目ア～キの観点に基づき、来期の見通しを適宜ご記入願います。

<p>■業況</p> <p>【製造業】前年同期比 DI 値=▲ 4.0 P</p> <p>【建設業】前年同期比 DI 値=▲21.3 P</p> <p>【小売業】前年同期比 DI 値=▲32.5 P</p> <p>【サービス業】前年同期比 DI 値=▲24.1 P</p> <p>■売上高</p> <p>【製造業】売上(加工)額 前年同期比 DI 値=▲10.0 P</p> <p>【建設業】完成工事(請負工事)額 前年同期比 DI 値=▲23.4 P</p> <p>【小売業】売上額 前年同期比 DI 値=▲24.1 P</p> <p>【サービス業】売上(収入)額 前年同期比 DI 値=▲16.2 P</p> <p>■売上単価</p> <p>【製造業】売上(加工)単価 前年同期比 DI 値=30.7 P</p> <p>【建設業】×</p> <p>【小売業】客単価 前年同期比 DI 値=▲14.4 P</p> <p>【サービス業】客単価 前年同期比 DI 値=▲7.3 P</p> <p>■原材料単価</p> <p>【製造業】原材料仕入単価 前年同期比 DI 値=79.6 P</p> <p>【建設業】材料仕入単価 前年同期比 DI 値=73.9 P</p> <p>【小売業】商品仕入単価 前年同期比 DI 値=59.1 P</p> <p>【サービス業】仕入単価(材料等) 前年同期比 DI 値=57.4 P</p> <p>■採算（経常利益）</p> <p>【製造業】 前年同期比 DI 値=▲14.0 P</p> <p>【建設業】 前年同期比 DI 値=▲27.7 P</p> <p>【小売業】 前年同期比 DI 値=▲33.8 P</p> <p>【サービス業】 前年同期比 DI 値=▲29.1 P</p> <p>■設備投資の将来の計画</p> <p>【製造業】回答 50 社の内、4 社計画 (投資内容)</p>
--

生産設備=2社、車両・運搬具、OA機器、その他=各1社

【建設業】回答47社の内、5社計画

(投資内容)

車両・運搬具=3社、土地、建物、建設機械、OA機器=各1社

【小売業】回答83社の内、9社計画

(投資内容)

車両・運搬具=5社、販売設備=3社、土地、OA機器=各1社

【サービス業】回答111社の内、10社計画

(投資内容)

車両・運搬具=5社、建物、サービス、付帯施設=各2社、OA機器=1社

■人手過不足の見通し

【製造業】 来期見通し DI 値=▲ 4.7P

【建設業】 来期見通し DI 値=▲19.6P

【小売業】 来期見通し DI 値=▲ 4.6P

【サービス業】 来期見通し DI 値= 0.0P

■資金繰りの見通し

【製造業】 前年同期比 DI 値=▲ 4.0P

【建設業】 前年同期比 DI 値=▲ 8.7P

【小売業】 前年同期比 DI 値=▲28.4P

【サービス業】 前年同期比 DI 値=▲25.7P

2 業界として抱える問題点・課題について

【製造業】

1位：原材料価格の上昇 2位：需要の停滞 3位：従業員の確保難
4位：製品ニーズの変化 5位：生産設備の不足・老朽化

【建設業】

1位：材料価格の上昇 2位：従業員の確保難 3位：民間需要の停滞
4位：材料費・人件費以外の経費の増加
5位：熟練技術者の確保難

【小売業】

1位：購買力の他地域への流出 2位：仕入単価の上昇
3位：需要の停滞 4位：人件費以外の経費の増加
5位：大型店・中型店の進出による競争の激化

【サービス業】

1位：材料等仕入単価の上昇 2位：需要の停滞 3位：利用者ニーズの変化
4位：人件費以外の経費の増加 5位：従業員の確保難

II 特別調査

1 原油・原材料価格等高騰の影響について

(1) 原油・原材料価格等の高騰は、貴団体業界にどの程度、影響があるかご教示下さい。

【該当するものを○で囲んでください。】

- ・ 大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある ・ 影響はない ・ わからない

(2) (1) による影響の具体的な内容及び対応についてご教示下さい。

○原材料の仕入単価の上昇により、見積の単価の変化が著しい。また客層により仕事の内容に変化がある。水産や加工は堅調だが、農業・林業が厳しいことから設備投資に差が生じていることが要因といえるだろう。

○光熱費、物価高騰に伴い消費者が家計の支出を抑えているため、低価格商品をスーパー等で購入するので、売上は激減している。

○販管費が増加した為、値上げ実施。値上げによる常連客の減りはない。

○固定費の上昇で単価を上げたいが、客離れが起きるかも考えると単価を上げづらい。

○コロナの終息で客は増えているが仕入単価、経費が高いため利益につながらない。値上げすれば済む話ではない。

○値上げして客単価が上げ。全体的に上がっている経費をまかなえそう。

○値上げが多すぎて客足が減ってきている。これでは、人件費上げられない、売上も下がる。サービス業だと値上げも難しい。

○原材料や光熱費の高騰が続いていて、経営を圧迫している。新商品での客単価アップを図っているが、なかなか効果が見られない。

○資材費や燃料費の高騰、新型コロナウイルスによる利用者の減少が続いている。材料等仕入単価の上昇やエネルギーの高騰により経費がかかってしまい、利益につながらない。また、借入返済も始まり資金繰りがかなり困難な状況である。

(3) 価格転嫁は、業界ではどの程度進んでいますか。

【業界としての平均値に該当するものを○で囲んでください。】

- ・ 全てできている (10割) ・ 概ねできている (9～6割) ・ 半ばできている (5～3割) ・ ほとんどできていない (2割未満) ・ 全くできていない (ゼロ)

(4) 価格転嫁が進んだ理由等について、具体的にご教示下さい。

(5) 価格転嫁が進まない理由等について、具体的にご教示下さい。

○度重なる原材料の高騰に加え、光熱費や燃料費等の負担額が激増しているが、そのすべてを売価に転嫁できるわけではない。

○仕入価格の高騰とその他経費が上昇している。価格転嫁が必要な状況であるが価格転嫁をしていない。社員給与も上げる検討している。

2 人手不足の状況について

(1) 貴団体業界における充足の度合いについてご記入願います。

<input checked="" type="checkbox"/> 正 規	・ 非常に不足	・ <input checked="" type="checkbox"/> 不 足	・ 充 足	・ 過 剰
<input checked="" type="checkbox"/> 非正規	・ 非常に不足	・ <input checked="" type="checkbox"/> 不 足	・ 充 足	・ 過 剰

(2) 上記(1)で「非常に不足」「不足」と回答された場合、どの程度影響を感じていますか。

・ 非常に深刻な影響を受けている	・ <input checked="" type="checkbox"/> 一定の影響を受けている	・ 現在のところ影響はない
------------------	---	---------------

(3) 上記(2)で「非常に深刻な影響を受けている」、「一定の影響を受けている」と回答された場合、その内容をご教示ください。

<p>○高齢化のせいで退職があり、人手不足で人材の補充が難しい。</p> <p>○どのように人員募集をすればよいかわからない。</p> <p>○4月より従業員が減少し、会社の規模を縮小し存続する道を選んだ。後継者不足、従業員の確保難、官民間問わず仕事の減少等多くの問題を抱えている。人口減少、少子高齢化の中、経営者としての決断が迫られている。</p>

(4) 上記(1)で「非常に不足」、「不足」と回答された場合、人手不足の緩和に向けた対策の内容をご教示ください。

<p>○安定して受注が入ってきているため、人を増やして売上も上昇させていく。</p> <p>○4月から新入社員が入社して、従業員不足という問題はなくなりつつある。</p> <p>○日本人の従業員確保が難しいので、多国籍の意欲的な派遣員を採用してみようと思う。取り急ぎ整備資格がなくても補助的要因として人員が確保できれば、作業効率が上がり、業況も良くなるのではないかと期待する。</p>
--

業種別業況動向調査 [令和5年4-6月期]

団体名：北海道中小企業団体中央会

I 一般調査

1 業界の動向

(1) 今期（令和5年4-6月期）の現状について

項目	内容
ア. 業界団体における業況感	<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>非常に悪い・悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い</p> <p>【主な判断理由】</p> <p>【製造業】</p> <p>○食料品（留萌：水産食料品） やや悪い：原材料の確保、資材の高騰、人件費の上昇等、売上に対する不安材料が多く景況感は良くない。</p> <p>○窯業・土石製品（全道：生コンクリート） やや良い：生コン出荷量の前年同期比は102%。民需が持ち直した。</p> <p>○鉄鋼・金属（室蘭：金属製品） やや良い：造船所各社3年程度の受注量があり、高操業が続く。</p> <p>【非製造業】</p> <p>○卸売業（札幌：各種商品） やや悪い：上場企業の収益は大幅に改善しているが、中小企業においては人材確保のための賃上げによる人件費負担・仕入れや物流によるコストの増加が重い。</p> <p>○卸売業（札幌：野菜・果実） やや悪い：コロナの5類移行に伴い、観光需要は持ち直したものの、経費の高騰、物価高が予想外であったため、業界団体の粗利を圧迫している。</p> <p>○卸売業（全道：木材） 悪い：資材の高騰。</p> <p>○小売業（函館：各種商品） 非常に良い：最大9連休となった今年のGWの前半は、思いのほか極端な混雑もなく程々の客入りだった。むしろ桜が開花した前の週の方が、土日共に駐車場の渋滞や食堂での行列が見受けられ、分散された利用となって業況的には良かったように感じている。</p> <p>○小売業（全道：電気機械器具） やや悪い：コロナ5類移行に伴い、消費者のイベントや旅行への消費が増えた。</p> <p>○小売業（全道：燃料） やや悪い</p> <p>○小売業（全道：農業用機械器具） やや良い：機械価格の高騰で農家の購買意欲を後退させている。</p> <p>○サービス業（全道：公衆浴場） 横ばい：重油の高騰、光熱費及び営業用消耗品の値上がりは止まらないが、入浴客は安定している。</p> <p>○サービス業（全道：自動車整備） やや良い：継続検査（車検）台数や新車の登録（届出）台数が昨年同時期より増加している。なお、6月の道内新車販売台数は10か月連続</p>

	<p>で対前年比プラスの状況となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○建設業（札幌：左官工事） 横ばい：完成工事額及び受注額の状況。 ○運輸業（小樽：一般貨物自動車運搬） 悪い：燃料油の消費量の減少、価格の高騰。
<p>イ. 売上高、売上単価の動向</p>	<p>【製造業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食料品（留萌：水産食料品） 売上単価は上昇傾向だが、売上高には反映されていない状況。 ○窯業・土石製品（全道：生コンクリート） 原材料費の高騰により、各地域の生コンクリート協同組合が令和4年4月以降、2回価格改定を実施。これを受け開発局の積算単価が順次改定されているが、一部地域においては未反映。 ○鉄鋼・金属（室蘭：金属製品） 受注単価の上昇と高操業で売り上げは増加。 <p>【非製造業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○卸売業（札幌：各種商品） 仕入価格上昇に伴い、売上単価は上昇、価格転嫁が進んでいる。個人消費は回復傾向にあるが、コロナ以前には戻っておらず、単価の上昇が売上増加に寄与している。 ○卸売業（札幌：野菜・果実） 運送経費の上昇が著しい。 ○卸売業（全道：木材） 売上高20～25%減。 ○小売業（函館：各種商品） 5月はクルーズ客船が9船入港し、内、函館朝市前の若松埠頭に7船が寄港し、大変賑わった。港埠頭に寄港した2船も「MSCベリッシマ」で、大手通販会社がチャーターする日本周遊10日間クルーズということで、国内客が主流だったこともあり、海外客とは違い、購買力も高く、どの店舗も売り上げが大きく伸びた。今年度は、あと9船が入港予定で、今後も益々期待が高まる。 ○小売業（全道：電気機械器具） 電気代の値上げで省エネタイプの家電の価格が上昇している。 ○小売業（全道：農業用機械器具） 売上高（4月～6月）対前年比90%。 売上単価 前年並み。 ○サービス業（全道：公衆浴場） わずかではあるが、入浴料金の値上げを行っている。 ○サービス業（全道：自動車整備） 売上高、売上単価ともに上昇している。 ○運輸業（小樽：一般貨物自動車運搬） 単価（運賃）は上がっているが、まだまだの様子である。
<p>ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向</p>	<p>【製造業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食料品（留萌：水産食料品） 輸入原料の漁獲減等のため、仕入れコストの上昇が考えられるが、地場の原料調達を手探りの状況である。 燃料・電気の高騰は相当の負担となっている。 ○窯業・土石製品（全道：生コンクリート） セメント価格は高止まり。骨材価格、運搬費も上昇傾向。 ○鉄鋼・金属（室蘭：金属製品） 造船鋼材の値上がり依然在として続いている。 <p>【非製造業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○卸売業（札幌：各種商品） 資材の不足に加え、円安が加わり仕入れ価格は上昇。 政府補助金の減額によりガソリン・軽油価格が上昇しており、物流

	<p>だけでなく営業活動にも影響が出ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○卸売業（札幌：野菜・果実） 生鮮流通品の全てにおいて上昇している。 ○卸売業（全道：木材） コスト上昇により厳しい状況、製品価格に転嫁できていない。 ○小売業（全道：電気機械器具） 商品は値上げ傾向にある。 ○小売業（全道：農業用機械器具） 4月度より資材・機械（製品）が値上がりしている。 ○サービス業（全道：公衆浴場） 営業に係る全てのものが値上がり。 ○サービス業（全道：自動車整備） すべて上昇している。 ○建設業（札幌：左官工事） すべて上昇している。 ○運輸業（小樽：一般貨物自動車運搬） すべて上がっている。
エ. 収益の動向	<p>【製造業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食料品（留萌：水産食料品） コスト高で単価に転換しきれないこともあり、減少傾向にある。 ○窯業・土石製品（全道：生コンクリート） 開発局の積算単価が変更されても定着するまでに数か月を要することが多く、その間、収益が圧迫される。 ○鉄鋼・金属（室蘭：金属製品） 船価格の回復で徐々に収益の改善が見られる。 <p>【非製造業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○卸売業（札幌：各種商品） 仕入れ価格や物流コストの上昇により厳しさはあるが、一定水準の利益は確保している。 ○卸売業（札幌：野菜・果実） コスト上昇分を価格に転嫁することが出来ないため、その分利益が減少してしまう。 ○小売業（函館：各種商品） 今年のGWも昨年に続き行動制限もなく、コロナ禍前に近い混雑状況だった。GW期間中に当連合会で準備した臨時駐車場も含め駐車場の利用が、期間中だけで昨年を更に上回り、前年比5%増と引き続き好調となった。 また、GW後も修学旅行やインバウンドなどの観光バスが大挙し、連日、人の出入りが目立ち、混雑していた。 ○小売業（全道：農業用機械器具） 減益となっている。 ○サービス業（全道：公衆浴場） 思わしくない状況である。 ○建設業（札幌：左官工事） 横ばい。 ○運輸業（小樽：一般貨物自動車運搬） 減少している。
オ. 設備投資の動向	<p>【製造業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○窯業・土石製品（全道：生コンクリート） 半数を超える工場がプラントの更新を課題の一つとして挙げているが、多くの工場は先送り。 ○鉄鋼・金属（室蘭：金属製品） 老朽設備投資（機器、クレーン等）。

	<p>【非製造業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○卸売業（札幌：各種商品） 全体的に消極ながら、コスト削減につながる小型の投資には前向き。 ○卸売業（札幌：野菜・果実） 設備投資にも限度があり、業務効率化は達成しづらい。 ○小売業（函館：各種商品） 函館市の蒸留酒販売会社が函館初のウイスキー蒸留所を開設すると発表。 ○小売業（全道：農業用機械器具） 様子を見ている。 ○サービス業（全道：公衆浴場） 大きな設備投資は控え、修理をしながら耐えている部分が多いが、修理代も大きい。 ○サービス業（全道：自動車整備） やや増加している。 ○建設業（札幌：左官工事） 横ばい。 ○運輸業（小樽：一般貨物自動車運搬） ドライバー不足のため、車両は代替で、増車はあまりしていない。
<p>カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入</p>	<p>【製造業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食料品（留萌：水産食料品） 人手不足は常態化しており非常に厳しい状況。 ○窯業・土石製品（全道：生コンクリート） 半数近い工場が現状において人手不足。 ○鉄鋼・金属（室蘭：金属製品） 造船業界の新卒者の正規・非正規とも低着率が低い。 定年退職者や外国人労働者を雇用して対応。 <p>【非製造業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○卸売業（札幌：各種商品） 正規・非正規・短期アルバイト等形態にかかわらず、募集に対する反応は鈍く、慢性的な人手不足の状況。 ○卸売業（札幌：野菜・果実） 販管費の中の人件費についても制限されてしまい、雇用の充実が図りづらい。 ○小売業（全道：農業用機械器具） 求人募集中だが、応募者が少ない。 ○サービス業（全道：公衆浴場） 家族経営が主なので変化はないが、人手は不足している。 ○サービス業（全道：自動車整備） 人手不足が続いている。特に若年労働者（整備士）の人材確保が難しい。 ○建設業（札幌：左官工事） 常時募集しているが、人手不足。 ○運輸業（小樽：一般貨物自動車運搬） 2024年問題から業界等への魅力度は減ってくると思われ、少しでも高給なところへの移籍が考えられる。
<p>キ. 資金繰りの動向</p>	<p>【製造業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鉄鋼・金属（室蘭：金属製品） 手形サイトは変わりなく資金繰り良好。 <p>【非製造業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○卸売業（札幌：各種商品） 安定している。 ○卸売業（札幌：野菜・果実）

	<p>取扱高について、物量が増加しているわけではなく、単価上昇を伴うインフレ状態であるため、資金繰りを行ったとしても業績改善には結びつきにくい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小売業（全道：農業用機械器具） まずまず順調に進んでいる。 ○サービス業（全道：公衆浴場） 思わしくない状況である。 ○サービス業（全道：自動車整備） 横ばい。 ○運輸業（小樽：一般貨物自動車運搬） 徐々に厳しくなりつつある。
--	--

(2) 来期（令和5年7-9月期）の見通しについて

上記（1）の項目ア～キの観点に基づき、来期の見通しを適宜ご記入願います。

<p>【製造業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食料品（留萌：水産食料品） コスト高騰状態も徐々に落ち着いてくると思われるが、需要の減少も考えられ、厳しい状況がしばらく続くと思う。 また、資材、電気等の上昇が避けられない中、在庫の調整等必要になるかと思われる。 ○窯業・土石製品（全道：生コンクリート） 新幹線以外の特需として、札幌市中心部の再開工事の進捗に伴う生コン需要の増が見込まれる。 ○鉄鋼・金属（室蘭：金属製品） 造船所各社、高操業が続いている。人手不足は工程に影響を及ぼしている。 <p>【非製造業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○卸売業（札幌：各種商品） 円安により、インバウンド需要の増加が期待されるも、コストアップが続くと予想され、収益的には横這いと見ている。 ○卸売業（札幌：野菜・果実） 全国的に夏休みシーズンに伴う観光需要でどれほどの需要があるかは未知数であるが、生産地からの潤沢な供給を期待したい。 ○小売業（函館：各種商品） 「全国旅行支援」の電子クーポンは、7月14日で終了するが、その後も繁忙期に入るということもあり、これまでの連日の賑わい状況を鑑みると、恐らくコロナ禍前と遜色ないほどの入込となるかと思う。 ○小売業（全道：電気機械器具） 物価の高騰で耐久消費財は苦戦しそうである。また、電気代、灯油・ガソリンの値上げで消費は低迷し、良くて横ばいとなると思う。 ○小売業（全道：農業用機械器具） 値上がりが続くと農家の購買マインドに水を差し、経営持続に苦しむ販売店が出てくる。 ○サービス業（全道：公衆浴場） このまま諸経費が嵩むようであれば、入浴料金の値上げもあまり意味がない。 ○サービス業（全道：自動車整備） やや良い又は横ばい。 コロナ禍の時の車検伸長により7月においても、ある程度の車検台数が見込めること、経済活動の正常化（個人消費増）に伴い、新車販売台数の増加がもう少し続くと予想される。 しかし、燃料、電気料金及び帳票類の値上げ等による経費負担の増加も予想される。 ○建設業（札幌：左官工事） 横ばいからやや良い。
--

2 業界として抱える問題点・課題について

【製造業】

○食料品（留萌：水産食料品）

輸入原料確保は見通しが立たず、また、コスト上昇がどこまでなのか見定めるのが困難な状況が今後も続くと思う。人材不足は常態化しており、厳しい創業状況の中、人件費上昇等への対応が必要になるのは必至。

○窯業・土石製品（全道：生コンクリート）

人材確保と技術者の育成。

地方において、生コンを供給する工場体制を維持するためには一定量の需要が必要。このため、地方における生コン需要の創出（コンクリート舗装等）が課題。

○鉄鋼・金属（室蘭：金属製品）

造船業界は、人材の確保・人材育成が今後の課題である。

【非製造業】

○卸売業（札幌：各種商品）

人材確保と人材の育成、後継者問題。

○卸売業（札幌：野菜・果実）

人材確保、人材育成、DX。

○小売業（全道：電気機械器具）

個人電気店の高齢化、後継者不足、大型店の乱立、EC取引の増加等で廃業が増加し、地域インフラとしての電気店の存続が危ぶまれる状況である。

○小売業（全道：燃料）

石油販売業界は、売上が原油価格に大きく左右される業界。

4～6月期の中東原油価格をみると、4月は一時1バレル当たり85ドルを超える高値で推移したが、5～6月は下落し、1バレル当たり75ドル前後で推移した。政府の燃料油価格激変緩和対策事業が継続されているため、石油製品のSS店頭小売価格は高値ながら比較的安定して推移し、4～6月期のガソリン価格は1リットル当たり平均167円程度と前期と同程度の水準。

また、ガソリン出荷量については、全国ベースでみると、引き続きコロナ禍前の水準には戻っていない。

なお、この先政府の燃料油価格激変緩和対策事業における補助率が段階的に縮小していくことから、SS店頭小売価格への影響が懸念される。

○小売業（全道：農業用機械器具）

農業従事者の高齢化、担い手不足、重労働、汚いなど農業を取り巻く環境は以前に増して厳しい。それでも農業機械のAI活用（自動田植機、自動トラクター、ドローンでの労働軽減）、酪農業の自動化（乳搾り）など労働力不足解消のため、努力をしているところである。

○サービス業（全道：公衆浴場）

経営者の高齢化、後継者難、設備及び施設の老朽化。

○サービス業（全道：自動車整備）

・人材確保難。

若年層の車離れ、整備士養成施設への入学者数の減少等から、若い整備士の確保が難しい状況にある。

・新技術対応

電気自動車や自動運転等の新機構を備えた自動車に対応した整備技術の高度化（習得）は業界の課題となっている。

○建設業（札幌：左官工事）

人材確保。

○運輸業（小樽：一般貨物自動車運搬）

人材確保と、燃料油の高騰による経費の大幅な増加。

3 道の施策等に対する意見、要望について

【製造業】

- 窯業・土石製品（全道：生コンクリート）

ライフサイクルコストで有利となるコンクリート舗装の普及拡大。

【非製造業】

- 卸売業（札幌：野菜・果実）

以前道の予算として、生産地からの流通経費に充てるため、「出荷奨励金」が計上されていたが、その復活を希望する。

- 小売業（札幌：電気機械器具）

エアコン、冷蔵庫、LED、エコキュート等の省エネタイプの家電や設備の販売に対しての対策をお願いしたい。

- サービス業（全道：公衆浴場）

営業用燃料、光熱費及び営業用消耗品等に係る経費の支援。

- 運輸業（小樽：一般貨物自動車運搬）

軽油税の軽減について議論していただきたい。

II 特別調査

1 原油・原材料価格等高騰の影響について

(1) 原油・原材料価格等の高騰は、貴団体業界にどの程度、影響があるかご教示下さい。

【該当するものを○で囲んでください。】

・ 大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある ・ 影響はない ・ わからない

(2) (1) による影響の具体的な内容及び対応についてご教示下さい。

【製造業】

○食料品（留萌：水産食料品）

大いに影響がある：特定の項目ではなく、輸送、電気、プラスチック製品その他コスト全般が上昇している。

○窯業・土石製品（全道：生コンクリート）

大いに影響がある

- ・セメント価格 セメントメーカー各社がロシア産石炭の禁輸措置により大幅値上げ。
- ・骨材価格 新幹線特需により逼迫し、価格上昇、石油製品の値上げにより輸送費上昇。
- ・燃料価格 石油製品の値上げにより、冬期間の加熱用エネルギーコスト上昇。
- ・輸送費 石油製品の値上げにより、生コンミキサー車輸送費上昇。

○鉄鋼・金属（室蘭：金属製品）

多少影響がある：造船鋼材の値上がりは収益悪化の要因。

【非製造業】

○卸売業（札幌：各種商品）

影響がある：物流コストの増加による収益への影響。

○卸売業（札幌：野菜・果実）

大いに影響がある：生産配送料、産地からの出荷経費。

○卸売業（全道：木材）

大いに影響がある：燃料費の増加、輸送費の上昇、電気料金の値上げなど。

○小売業（函館：各種商品）

大いに影響がある：エネルギー資源の高騰は、直接的な店舗運営への影響のみならず、第一次産業の燃料コストにも大きく響き、ひいては原材料の高騰にも繋がる。各店舗においても、物販店・食堂問わず、どの仕入れ品目においても、原材料費が軒並み高騰しており、品目によっては10倍以上に跳ね上がっている食材もある。

○小売業（全道：電気機械器具）

影響がある：商品の値上げ。

○小売業（全道：燃料）

大いに影響がある：原油価格の高騰は、そのままガソリン等石油製品の仕入価格の上昇となる。石油販売事業者としては、SS店頭価格に上昇分を転嫁せざるを得ない。

○小売業（全道：農業用機械器具）

影響がある：大型機械の運搬費、製品仕入価格の上昇のため、価格転嫁せざるを得ない。

○サービス業（全道：公衆浴場）

大いに影響がある：重油の高止まりが経営に大きな影響。

○サービス業（全道：自動車整備）

多少影響がある：原油価格の高騰により、燃料（ガソリン・軽油）、エンジンオイル、ギヤオイル、クーラント等の価格が値上がりしている。販売価格への転嫁は行われているものの、燃料代等の経費に係るもの全てを転嫁できているとは言えない。

○建設業（札幌：左官工事）

影響がある：適正な単価での契約締結を調整している。

○運輸業（小樽：一般貨物自動車運搬）

大いに影響がある

(3) 価格転嫁は、業界ではどの程度進んでいますか。

【業界としての平均値に該当するものを○で囲んでください。】

・ 全てできている (10割) ・ 概ねできている (9～6割) ・ 半ばできている (5～3割) ・ ほとんどできていない (2割未満) ・ 全くできていない (ゼロ)

(4) 価格転嫁が進んだ理由等について、具体的にご教示下さい。

【製造業】

○食料品 (留萌：水産食料品)

半ばできている：価格の上昇に対する理解がある程度浸透し、抵抗感が減少したと思う。

○窯業・土石製品 (全道：生コンクリート)

半ばできている：発注側の適正価格への理解が進んだことにより、調査会物価資料の表示価格の改定が進み、開発局の積算単価に反映されつつある。

但し、積算単価に反映されても新価格の定着までに時間を要するのが実態である。

○鉄鋼・金属 (室蘭：金属製品)

ほとんどできていない

【非製造業】

○卸売業 (札幌：各種商品)

概ねできている：メーカーの値上げ等の全体的な価格上昇圧力により、適正価格への理解が進みつつある。

○卸売業 (札幌：野菜・果実)

ほとんどできていない

○卸売業 (全道：木材)

ほとんどできていない

○小売業 (全道：電気機械器具)

概ねできている：メーカー商品は、仕入れに対しての売価なので、大きな問題はない。

○小売業 (全道：燃料)

概ねできている：石油販売事業は、仕入価格上昇分を販売価格に転嫁しないと利益が出ないため、転嫁せざるを得ない。

○小売業 (全道：農業用機械器具)

概ねできている：大手企業の価格転嫁への説明が進んでいる。

○サービス業 (全道：自動車整備)

半ばできている：タイヤ、オイル等の部品料金などは、値上げ幅が大きく、転嫁せざるを得ない。最近の情勢として、適正価格への理解が進んでいると思われる。

○建設業 (札幌：左官工事)

半ばできている：発注側の適正価格への理解が進んだ。

○運輸業 (小樽：一般貨物自動車運搬)

半ばできている：あまりにもかけ離れた価格設定をされては受けることが出来ない旨を荷主に対し申し入れる。

(5) 価格転嫁が進まない理由等について、具体的にご教示下さい。

【製造業】

○食料品 (留萌：水産食料品)

半ばできている：一般的な物価上昇による購買意欲の冷え込み等を考慮すると、商品価格を上げることは難しい面もあると思う。

○窯業・土石製品 (全道：生コンクリート)

半ばできている：地域によっては、新価格を適用できる新規工事が少ないため調査会物価資料の表示の改定が進まない。

○鉄鋼・金属 (室蘭：金属製品)

ほとんどできていない：取引先が交渉に消極的。

【非製造業】

○卸売業（札幌：野菜・果実）

ほとんどできていない：消費者へのしわ寄せを極力避けたい。

○小売業（函館：各種商品）

ほとんどできていない：世間の消費マインドも停滞している状況下において、エネルギーの高騰をそのまま販売価格に転嫁することは、消費低迷を益々加速させてしまうのではないかと、なかなか踏み切れない。

○サービス業（全道：自動車整備）

半ばできている：値上げ幅が少額のものとは後回しとなる。

また、短期間に複数回の値上げがあったものには対応（転嫁）が追いついていない。

○建設業（札幌：左官工事）

半ばできている：取引先の了解が得られない。

○運輸業（小樽：一般貨物自動車運搬）

半ばできている：取引先との関係悪化を懸念している。

(6) 価格転嫁以外の対応策について、具体的にご教示下さい。

【製造業】

○食料品（留萌：水産食料品）

商品サイズを変更し、従来の価格と大きく変わらないようにする等の対応をしている。

○鉄鋼・金属（室蘭：金属製品）

経費の削減。

【非製造業】

○卸売業（札幌：各種商品）

物流拠点の見直しなど運送コストの削減。

○卸売業（札幌：野菜・果実）

需要を取りまとめて共同仕入を推進する。

○小売業（函館：各種商品）

販売サイズ（容量の調整）をしている店舗が多い。

○小売業（全道：農業用機械器具）

組合員企業の担当者の訪問説明。

○サービス業（全道：公衆浴場）

営業時間の短縮、定休日の増により経費の削減。

○サービス業（全道：自動車整備）

企業努力によりコスト増分を吸収し、利益幅を減らすという対応が多い。

○建設業（札幌：左官工事）

経費削減。

2 人手不足の状況について

(1) 貴団体業界における充足の度合いについてご記入願います。

正規	・非常に不足	・不足	・充足	・過剰
非正規	・非常に不足	・不足	・充足	・過剰

[製造業]	正規	非正規
食料品（留萌：水産食料品）	不足	不足
窯業・土石製品（全道：生コンクリート）	不足	—
鉄鋼・金属（室蘭：金属製品）	不足	不足
[非製造業]		
卸売業（札幌：各種商品）	不足	不足
卸売業（札幌：野菜・果実）	不足	不足
卸売業（全道：木材）	不足	—
小売業（函館：各種商品）	不足	不足
小売業（札幌：電気機械器具）	充足	充足
小売業（全道：農業用機械器具）	不足	—
サービス業（全道：公衆浴場）	不足	—
サービス業（全道：自動車整備）	不足	不足
建設業（札幌：左官工事）	不足	—
運輸業（小樽：一般貨物自動車運搬）	不足	不足

(2) 上記(1)で「非常に不足」「不足」と回答された場合、どの程度影響を感じていますか。

<p>・非常に深刻な影響を受けている ・一定の影響を受けている ・現在のところ影響はない</p>
<p>[製造業]</p> <p>○食料品（留萌：水産食料品） 非常に深刻な影響を受けている</p> <p>○窯業・土石製品（全道：生コンクリート） 一定の影響を受けている</p> <p>○鉄鋼・金属（室蘭：金属製品） 一定の影響を受けている</p> <p>[非製造業]</p> <p>○卸売業（札幌：各種商品） 一定の影響を受けている</p> <p>○卸売業（札幌：野菜・果実） 非常に深刻な影響を受けている</p> <p>○卸売業（全道：木材） 現在のところ影響はない</p> <p>○小売業（函館：各種商品） 一定の影響を受けている</p> <p>○小売業（全道：農業用機械器具） 一定の影響を受けている</p>

- サービス業（全道：公衆浴場）
一定の影響を受けている
- サービス業（全道：自動車整備）
一定の影響を受けている
- 建設業（札幌：左官工事）
一定の影響を受けている
- 運輸業（小樽：一般貨物自動車運搬）
一定の影響を受けている

(3) 上記(2)で「非常に深刻な影響を受けている」、「一定の影響を受けている」と回答された場合、その内容をご教示ください。

【製造業】

- 食料品（留萌：水産食料品）
人的資源の不足で取引先の要求に応えられない等の影響が出ている。
- 窯業・土石製品（全道：生コンクリート）
新卒者を採用できない、経験者を採用できない、高齢化の進行、人材育成ができない、有資格者の確保が困難、労働安全教育に支障が出ている。
- 鉄鋼・金属（室蘭：金属製品）
高収入業界への転出。

【非製造業】

- 卸売業（札幌：各種商品）
納期の遅れを回避するための時間外労働の増加など、従業員1人当たりの負担が増えている。指導の時間が確保できないことから、技術やノウハウの伝承に支障を来している。
- 卸売業（札幌：野菜・果実）
早朝の作業が多く、業界として長時間勤務になりやすい。
- 小売業（函館：各種商品）
売上減少（特に対応不足による機会損失）。
- 小売業（全道：農業用機械器具）
農業業界の不人気。
- サービス業（全道：公衆浴場）
高齢の営業者にとっては、風呂掃除等が重労働。
- サービス業（全道：自動車整備）
人手不足、時間外労働削減などから、整備の受注を制限したり、納期が延びたりしているところがある。
- 建設業（札幌：左官工事）
売上減少（需要増への対応困難）。
- 運輸業（小樽：一般貨物自動車運搬）
事故の心配。

(4) 上記(1)で「非常に不足」、「不足」と回答された場合、人手不足の緩和に向けた対策の内容をご教示ください。

【製造業】

- 食料品（留萌：水産食料品）
働きやすい環境作り、事業の選別・縮小等の対策が必要と思われる。
- 窯業・土石製品（全道：生コンクリート）
生コン業界のイメージアップの取り組み。
 - ・「コンクリート甲子園」出場を目指す工業高校チームに対する支援。
 - ・全道の就学児童にミキサー車を模った消しゴムを寄贈。
- 鉄鋼・金属（室蘭：金属製品）
定年退職者、女性従業員、外国人労働者の雇用。

【非製造業】

- 卸売業（札幌：各種商品）
賃金の引き上げ、働きやすい職場環境づくり。

- 卸売業（札幌：野菜・果実）
定年延長。
- 小売業（函館：各種商品）
賃金や時給の引き上げ、事業の縮小、見直し（営業時間短縮や店舗統合など）
- 小売業（全道：農業用機械器具）
農作業安全、安心、機械化（AI）等の推進。
- サービス業（全道：公衆浴場）
営業時間の短縮、定休日の増加。
- サービス業（全道：自動車整備）
 - ・将来的な人材確保に向け、高校訪問（国との共働）や職場体験の実施。
 - ・職場環境改善（賃金、施設、福利厚生など）への取組み。
 - ・外国人労働者の雇用（実習制度の活用）。
 - ・退職者の再雇用（女性、非常勤含む）。
- 建設業（札幌：左官工事）
賞与や賃金の引き上げ、他事業所に支援を依頼。
- 運輸業（小樽：一般貨物自動車運搬）
定年延長、再雇用。

業種別業況動向調査 [令和5年4-6月期]

団体名：北海道信用保証協会

I 一般調査

1 業界の動向

(1) 今期（令和5年4-6月期）の現状について

項目	内容
ア. 業界団体における業況感	<p>【現状】</p> <p>■保証状況</p> <p>・令和5年度(6月末時点)の保証承諾は5,917件(前年同月比123.7%)、79,790百万円(前年同月比143.3%)。</p> <p>ゼロゼロ融資の借換が可能な伴走支援型特別保証や創業者を支援する創業関連保証、小規模事業者を対象とする小口零細企業保証の申込が堅調で増加。</p>
イ. 売上高、売上単価の動向	<p>業種別(主要業種)では、</p> <p>製造業 7,588百万円(前年同月比149.4%)</p> <p>建設業 22,827百万円(前年同月比141.7%)</p> <p>卸売業 9,164百万円(前年同月比123.8%)</p> <p>小売業 10,527百万円(前年同月比170.9%)</p>
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向	<p>飲食業 3,720百万円(前年同月比250.1%)</p> <p>運輸倉庫業 5,129百万円(前年同月比119.6%)</p> <p>サービス業 13,594百万円(前年同月比138.6%)となった。</p>
エ. 収益の動向	<p>■代位弁済状況</p> <p>・令和5年度(6月末時点)の代位弁済は365件(前年同月比124.1%)、4,164百万円(前年同月比137.1%)と増加。</p>
オ. 設備投資の動向	<p>緊迫する海外情勢や不安定な円相場、人員不足や原油・原材料・エネルギー・資材価格の高騰など事業者を取り巻く経営環境は厳しさを増している。</p>
カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入	<p>業種別(主要業種)では、</p> <p>製造業 205百万円(前年同月比35.5%)</p> <p>建設業 1,017百万円(前年同月比217.2%)</p> <p>卸売業 295百万円(前年同月比40.1%)</p> <p>小売業 480百万円(前年同月比190.6%)</p> <p>飲食業 449百万円(前年同月比193.4%)</p>
キ. 資金繰りの動向	<p>運輸倉庫業 429百万円(前年同月比151.4%)</p> <p>サービス業 935百万円(前年同月比190.7%)となった。</p>